

プレスリリース  
報道関係者各位

2020年3月2日  
ブロードメディア株式会社  
ブロードメディア・スタジオ株式会社

諏訪敦彦監督最新作

## 映画『風の電話』

第70回ベルリン国際映画祭 ジェネレーション 14プラス部門  
国際審査員特別賞を受賞

ブロードメディア株式会社の子会社ブロードメディア・スタジオ株式会社(本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 太郎)は、モデルで女優のモトウ世理奈が主演を務める諏訪敦彦監督最新作の映画『風の電話』において、第70回ベルリン国際映画祭(現地時間2月20日から3月1日まで開催)のジェネレーション部門に正式出品され、現地時間28日の授賞式において、国際審査員による準グランプリにあたる賞(特別表彰)となる「国際審査員特別賞(スペシャル・メンション)」を受賞いたしました。また、本作は2020年1月24日より新宿ピカデリーほか全国で順次公開されており、絶賛公開中です。

第70回ベルリン国際映画祭 ジェネレーション部門 国際審査員特別賞を受賞



©2020 映画『風の電話』製作委員会

本作が招待されたジェネレーション部門は、「Generation 14plus」と「Generation Kplus」という2つのコンペで構成されており、発掘作品や若者が出演する作品を対象としたものです。本作は「Generation 14plus」での出品となり、諏訪監督作品で、同部門の選出は、2009年の『ユキとコナ』以来2度目となります。

審査員から「我々は穏やかでありながらも壮大なロードムービーに大変心を打たれました。そして、辛いけれど希望のある忘れることのできないラストシーン。この困難な時代に、喪失の空虚さと人と人の繋がりの温かさの両方を共存させることが、これまで以上に重要になってきています。この映画は優雅さと力の両方を持って、見事にそれを成し遂げています。」と講評いただきました。授賞式には脚本家の狗飼恭子が登壇し、諏訪監督のコメントを代読いたしました。諏訪監督と主演モトウ世理奈のコメントの全文は下記の通りとなります。

### 〈諏訪敦彦監督 コメント〉

「東京で受賞の知らせを聞き、とても感動しています。この日本のささやかな祈りを受け止めてくださった審査員の皆さんに感謝します。「風の電話」は現実に存在しています。きっと今日も、傷ついた誰かが訪れ、亡くなった大切な人に話しかけていることでしょう。我々を信頼し、この映画の制作を支援していただいた「風の電話」の設置者である佐々木格(ささき

いたる)さんに感謝を送りたいと思います。そして、何よりも、このベルリンの地での初めての上映後、鳴り止まぬ拍手と励ましの声で、まるで家族のようにこの映画が暖かく迎えられた瞬間を私は忘れることができません。映画は観客のもので、ハルと共に旅をしてくれたベルリンの人たち、世界中の傷ついた若者たちに、感謝とともにこの賞をお送りしたいと思います。」

### 〈モトーラ世理奈 コメント〉

「嬉しいです。すごく嬉しいです。諏訪監督に出逢えて、私にとって素敵なことがたくさんです。諏訪監督、ありがとうございます。そして、おめでとうございます。ベルリン映画祭のプレミア上映で、観客の皆さんが、風の電話に流れている風を、しっかりと感じてくれたんだと実感してとても感動しました。私が演じた、ハルにこれから世界中の人々の、心の中で旅をし続けてほしいと願っています。」

### 【ストーリー】

17歳の高校生ハル（モトーラ世理奈）は、東日本大震災で家族を失い、広島に住む伯母、広子（渡辺真起子）の家に身を寄せている。心に深い傷を抱えながらも、常に寄り添ってくれる広子のおかげで、日常を過ごすことができたハルだったが、ある日、学校から帰ると広子が部屋で倒れていた。自分の周りの人が全てなくなる不安に駆られたハルは、あの日以来、一度も帰っていない故郷の大槌町へ向かう。広島から岩手までの長い旅の途中、彼女の目にはどんな景色が映っていくのだろうか。

憔悴して道端に倒れていたところを助けてくれた公平（三浦友和）、今も福島に暮らし被災した時の話を聞かせてくれた今田（西田敏行）。様々な人と出会い、食事をふるまわれ、抱きしめられ、「生きる」と励まされるハル。道中で出会った福島の元原発作業員の森尾（西島秀俊）と共に旅は続いていき…。そして、ハルは導かれるように、故郷にある〈風の電話〉へと歩みを進める。家族と「もう一度、話したい」その想いを胸に一。

当社は、今後も皆様と優れたエンターテインメント作品の懸け橋となれるように、努力とチャレンジを続けてまいります。

### 【作品情報】

タイトル：『風の電話』  
監督：諏訪敦彦  
脚本：狗飼恭子、諏訪敦彦  
音楽：世武裕子  
出演：モトーラ世理奈、西島秀俊、西田敏行（特別出演）、三浦友和、渡辺真起子、山本未来、占部房子、池津祥子、石橋けい、篠原篤、別府康子  
製作年：2020年  
上映時間：139分  
配給：ブロードメディア・スタジオ株式会社  
助成：文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会  
URL：<http://www.kazenodenwa.com/>

### 【会社概要】

社名：ブロードメディア・スタジオ株式会社  
代表者：橋本太郎  
所在地：東京都中央区月島1-14-7  
設立：2000年8月10日  
事業内容：外国映画および外国テレビシリーズのテレビ放映権販売、日本語版制作(字幕・吹替)、DVDビデオの権利仕入・発売・プロモーション、映画製作・配給、映画宣伝等  
URL：<https://www.bmstd.com/>

以上

### 〈報道関係のお問い合わせ〉

ブロードメディア・スタジオ株式会社 ピクチャーズ・カンパニー 担当/福田・梅原  
Tel: 03-5413-5487 Mail: [d-fukuda@bmstd.com](mailto:d-fukuda@bmstd.com)

ブロードメディア株式会社 経営管理本部 財務部広報課  
Tel: 03-6439-3983 Fax: 03-3478-7014 Mail: [cmktg@broadmedia.co.jp](mailto:cmktg@broadmedia.co.jp)

【本リリースのURL】 <https://www.broadmedia.co.jp/news/2020/03/02-001857.html>